

調査・実践報告

中国甘肅省臨夏回族自治州康楽県の蓮花山花儿会 Investigation Report of Taomin North Hua'er, 2014

板垣俊一¹ 戚曉萍² 張蠡³
ITAGAKI Shun'ichi QĪ Xiǎo Píng ZHĀNG Lí

キーワード：洮岷北路花儿 Taomin Hua'er 歌垣 蓮花山 民間歌謡

1 調査目的と調査方法

日本古代の和歌の源流と考えられている歌垣に似た習俗で、今も中国の西北部に行なわれている花儿会については、その実態をこれまで何度も報告してきたところである（本誌掲載「中国甘肅省岷県花儿会調査報告」2009～2013）。ただし、これまで対象としてきたのは岷県の二郎山を中心とする花儿会であった。この地方を流れる川に、岷県から北西へ流れて蘭州市の西で黄河に合流する洮河という川がある。その流域に広く歌われる歌謡を総称して洮岷花儿と呼ぶが、南部地方と北部地方では演唱の形態や曲節に大きな違いがあることから、拙稿「中国甘肅省の民衆歌謡“洮岷花儿”について—東アジアの歌謡文化再考—」（『県立新潟女子短大研究紀要』第46集、2009.03）で述べたとおり、「南路」と「北路」の二種に分類している。地域的には、岷県一帯で歌われる花儿を南路と呼び、康楽・臨洮などで歌われる花儿を北路と呼ぶ。

今回は、北路の花儿の中心地である康楽県の蓮花山で催される花儿会の実態を知るために、例年の祭礼期間に当たる6月28日～7月1日に現地を訪れた。この日は旧暦（農曆）では6月3日～6月5日に当たる。具体的な目的は、これまで見てきた二郎山を中心とする南路の花儿会との相違を確認するために現地を訪れて歌手たちの演唱を記録し、また現地における花儿の歌謡文化がどのように継承されているかをインタビュー調査することであった。

歌謡の歌詞には必ずから現地の民間信仰や風俗が反映されていることから、歌詞の文字化はそれを知る手がかりとして貴重である。今回の調査方法でも、これまでどおり歌手たちの自発的な演唱を録音し、それを現地方言が理解できる戚曉萍氏の協力によって漢字文字化し、さらに日本語に堪能な張蠡氏に依頼して日本語訳してもらうことにした。また、花儿歌謡文化の現状に関する調査では、現地に長く住んでいて幼少期から蓮花山の花儿会を見聞きし、また歌掛けに参加してきた人物を探し出して聞き取りを行なう方法をとった。調査期間は2014.06.28（土）～07.01（月）の4日間である。

2 調査内容

2-1 2014.06.28（土）和政県の松鳴岩での対歌

朝、康楽県のホテル憩園賓館を出発して、和政県の松鳴岩へ向かった。松鳴岩は、断崖絶壁の岩肌にくいつもの廟が点在し、菩薩大殿・達摩（達磨）殿・卓瑪殿・王母宮・娘娘殿・山神廟などさまざまな神仏を祭っている聖地である。蓮花山の花儿とは系統が異なるが、ここもまた花儿会が盛大に行なわれる聖地であり、一見の必要ありと判断して訪問した。この日はちょうど野外の特設ステージで花儿のコンテストが行なわれていた。河州花儿ののど自慢大会である。また、松鳴岩森林公園の野外

ステージでは政府主催の「全国学生原生民歌歌唱大会」も行なわれていたので、雨の中徒歩でその会場へ移動した。移動の途中、林の中で花儿を対歌する男女を見かけたので35分程録音した。少し年配のムスリムの男女が対歌し、もう一人の男性が二胡を弾いて歌のメロディをなぞっていた。三弦を伴奏に対歌する雲南の白族の場面と似ている。男女は回族の可能性が高いが、民族名は確認しなかった。また氏名の確認もしていない。この日は花儿会が行なわれる祭礼の日ではないけれども、このように多くの人々が集まるときには自然発生的に歌掛けが始まる場合もあるようである。市が開かれる所で花儿会が行なわれる場合と共通する。男性も女性の音程に近い非常に高い声で歌う点は洮岷花儿と共通していた。

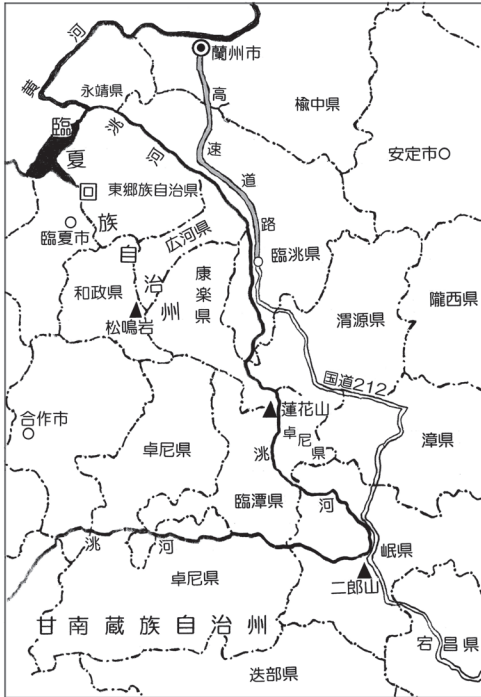


図1 甘肅省南部蓮花山周辺地図

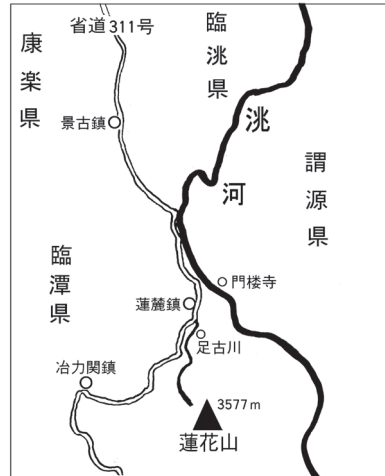


図2 蓮麓鎮付近拡大図

2-2 2014.06.29 (日) 蓮花山の花儿会

麓の足古川鎮から自動車で蓮花山へ登った。40分ほど登ると途中料金所があって車両の入山規制を行っていた。当日は天気も良く、日曜日ともあって大変混雑した。そこから先へ進むには、ひとり40円の料金があるとのことで、車で登ることをあきらめて、すこし歩いて行くと、20分くらいのところで帰ってくる人たちに出会った。様子を聞くと、山で花儿を歌っている人はいないとのことだったので、われわれもそこから引き返した。文献で読んだ過去の様子とはまったく変わっていた。

下山して蓮麓鎮に行くと、道路ぞいには多くの露天が並び、たいへんな賑わいだった。ここでも自然な形で花儿の歌掛けをする男女は見かけなかったが、テントの中で対歌する人々に出会った。女性同士二人と二人とが向かい合って対歌している。あとで男の人も一、二人、対歌に加わった。この人たちは、「汪蓮蓮非物質文化蓮花山花儿演唱會」(第三屆十一次)の参加者で、テントの対歌はそれに参加した者たちが大会の名残に自由に歌っていたのであった。

汪蓮蓮は、この地方の花儿演唱に優れた歌手で、今は花儿の教室を開いて歌の指導をしているという。

本名は汪海娥。「汪蓮蓮」は芸名である。花児の串班長を務める趙意立という夫君がいて、彼女を盛り立てている。

趙意立氏は1957年生まれ。地元で串班長（串把式ともいう）と呼ばれる人は、花児の歌詞を作ることが得意で、歌手たちと同行して彼らが歌う歌詞をその場で即興的に作ってやる人のことである。「汪蓮蓮非物質文化蓮花山花児演唱會」の主催者でもあり、氏は今回の花児演唱會に参加した歌手たちの名簿を見せてくれた。参加者は地元の康楽県が最も多いが、近隣の涇源・岷県・臨洮などからも来ている。男女はだいたい半数ずつ。翌日見かけた魏淑琴（47才）もこの大会に参加した女性で、臨洮県の衙下集鎮から来たという。（彼女は作詞が得意だと自慢する。このたびの大会ではよい成績が取れず、採点の不満を訴えていた。地元の方言は康楽県と同じだという。また、7月17日には彼女の地元でも花児会があるとのこと。）

次は、蓮花山花児に関する筆者の質問と趙意立氏の答えである。

問：蓮花山の花児会は6日間にわたって行なわれる行事で、初日、二日は蓮花山に登って花児を歌うと聞いたが、現状はどうか？

答：昔はそうだった。昔は交通が不便で、歩きながら登ったので時間がかかった。けれども今は車で登って日帰りできるようになったのでおもに山の下で歌うようになった。

問：それでは、すっかり昔と変わってしまって、今ではもう山の上では歌わないのか。

答：山の上で歌う人も少しはいるが昔に比べると少ない。ただし、昔から蓮花山花児会の6日目は平地で歌う人が多い。なぜかという、昔は交通が不便だったので遠方から来た人たちは蓮花山になかなか登れない。けれども、花児を歌いたい気持ちが強くある。また、6日目は蓮花山花児会の終わりの日だから下山してくる人々がそれに合流する。そうした人々が村へ来るので、村の人たちは馬蓮繩を引いて歌わせるからだ。



写真1 蓮花山中腹の寺院
(この裏に登山道が続いている)



写真2 馬蓮繩を引く様子を再現したところ

2-3 2014.06.30 (月) 花儿会に関するインタビュー

趙意立氏から、門楼寺（地名）で甘肅省テレビ局のスタッフが花儿会の様子を録画取材すると聞いたので、その現場へ行く。テレビ取材に応じていたのはここでも汪海娥（汪蓮蓮）夫婦の関係者たちで、歌い手たちは花儿会の様子を再現するために馬蓮繩を用意していた。かつての花儿会はもはや過去のものになったという感を強くした。

門楼寺で再び趙意立氏に蓮花山の花儿会に関する質問を行なった。筆者の質問に対する趙意立氏の回答は次のとおりである。

問：花儿の歌詞を即興的に作る場合、何か工夫はあるか。

答：その場にある物を見て、それを歌詞に取り込む。たとえば、あそこの木も、そこに落ちている空きビンも歌の素材になる。

問：花儿会にやってくる歌い手たちを、村の人が道に馬蓮の繩を張って通せんぼするというのは昔からの風習か。

答：その通りだ。村の人は馬蓮で縛った繩で歌い手たちを通せんぼする。

問：村の人とは、どの辺の範囲の人たちか。

答：花儿を歌いにくる人たちは、あちこちの村を回るから、その人たちが来れば、村の人が主人になって馬蓮繩を引くし、馬蓮繩を引いた村の人が別の村に行つて歌おうとすれば、別の村の人たちが馬蓮繩を引いて歌い手たちを通せんぼするのだ。

問：それでは、蓮花山からだいぶ離れているこの辺（門楼寺）の村でも馬蓮繩を引いたか。

答：昔は、ここでも馬蓮繩を引くことがあったが、今は無くなった。

問：昔の様子はどうだったか。

答：私は子どものころいつも馬蓮繩を作って、それを引いて通せんぼするのが役目だった。

問：馬蓮はこのあたりに生えているのか。

答：この近くに生えている。馬蓮は、刈り取った後しばらく乾かしてから繩に撚るのだ。

問：馬蓮は、そのほかに何か使い道はないのか。

答：馬蓮は、油絞りに使う。油を絞るには、原料の胡麻や菜種を袋に入れてつぶすが、その袋を作るのに使う。馬蓮は油を付けると丈夫になるし、さらさらしていて油が染みこまない点もすぐれている。

問：蓮花山花儿会の在り方が大きく変わったのは、いつごろからか。

答：1980年代に花儿のコンテストが始まった。第一回目のコンテストで私の妻（汪海娥）が一位になったことがあった。コンテストで良い成績をとる歌手が出てくるようになると、そのほかの人たちは花儿を歌うことに自信を失って、次第に歌わないようになった。それが大きな原因の一つだった。一番ひどかったのは、1990年代に入ってからで、歌う人がほとんどいなくなってしまった。ただし、その後国家の文化遺産に指定されてからは、また次第に興味を持つ人が増えてきた。そのほか花儿が衰退した原因は、人々の出稼ぎが増えたことにもよる。

問：最近、奥さんのような指導者が出て、花儿を歌う若い人が増えないのはなぜか。

答：私たちは花儿を次の世代に伝えて行きたいという気持ちを強く持っている。そのためにいろいろな試みをしたけれども、花儿が社会的に認められないことが大きな障害だった。たとえば、妻の汪海娥は、周りの人に教えるよりもまず自分の親族である姪っ子に教えることから始めようと試みた。小学生の姪は花儿を覚えていろいろなコンテストに出て賞をもらったけれども、学校の教師に、あなたは花儿の練習のために学習がおろそかになっていると叱られた。さらに周りの児童からも言葉のいじめを受けて、姪は学校をやめた。花儿を習いたがる同じくらいの女の子も実際には多かったけれども、姪っ子の例を見て、みな習う気持ちがなくなった。

問：男女で花儿を歌い合うことは、家族や近所に気兼ねすることではなかったか。蓮花山の参詣にこじつけて花儿会に参加するようなことはなかったか。

答：若者にとっては、そのようなことはなかった。堂々と花儿の歌掛けに参加した。たとえばなかなか子どもが授からない夫婦が、花儿の歌手を招いて蓮花山の廟で子宝を求める歌を歌ってもらった。子どもを授ける神様の前で歌ってもらうのだ。

問：蓮花山の山頂には子を授ける神の廟があるか。

答：そのような廟がある。私の妻も、歌を頼まれたことが何回もある。残念なことに、そうして子宝に恵まれた夫婦がお礼を言いに来たことがない。

問：花儿には神花儿と愛情花儿があるが、子宝祈願の花儿は神花儿か。

答：神花儿という言い方よりは、われわれは具体的な機能によって花儿を分けている。子宝を求める歌は子授かりの歌、神様のための花儿（神に捧げる花儿）は神仏を敬う（敬法）花儿と呼んでいる。神様のための花儿については、厳密に言えば新しい廟ができたときに歌うのが本当の神様のための花儿である。

問：そのほかに愛情の歌があるわけだね。

答：それには特別の名前は無い。ただ花儿と呼ぶだけだ。

問：雨乞いのために歌う花儿もあるか。

答：ここにも湫神（池の神）信仰はあるが、雨乞いのために人々が集まって花儿を歌うような行事は無い。雨乞いは、個人的には行なう。雨乞いを専門にする「師家」とい祈祷師がいる。師家は、羊の皮で作った太鼓をたたいて雨乞いをする。早魃の時は数ヶ村が相談して、師家を招いて雨乞いを行なう。師家は陰陽師の役割の一部、雨乞いだけを担当する占い・祈祷師である。

問：湫池はあるのか。

答：湫池のようなものはない。湫池から水を取って祭をするというやり方はない。しいて湫池といえ、有名なのは治力関の山奥の池（常爷池か）が知られている。

問：この、目の前に流れている洮河の水が涸れることは無いか。

答：まったくない。

問：それでは水に不自由することはないね。

答：洮河のそばの人たちはこの水を利用できるけれども、もっと山の上へ行くと雨だけが頼りだ。この地方の人口分布はむしろ山手の住民が多い。ほとんど漢民族である。

問：何か移民の伝説はあるか。

答：地域全体の移民伝説は無い。姓によって事情が違う。たとえば私の姓（趙）の先祖は甘肅省の武威市（昔の涼州）から移ってきた

問：この辺には羌族の伝説は無いか。

答：無い。

問：チベット族はこの辺に住んでいないか。

答：洮河の東側にあたるこの辺には住んでいないが、西側には少し住んでいる。また南の卓尼県にも住んでいる。

問：チベット族のひとつは蓮花山にお参りに来るか。

答：私の妻の弟子にもチベット族の人がいる。質問とは直接関係ないが、この近くには険しい一つの崖があって、その崖の上には廟



写真3 蓮花山花儿会で歌って卓尼県の家へ帰るところだというチベット族の女性たち (2014.06.29、治力関にて)

が建てられている。なぜ、そんなところに廟を作ったのかというと、昔、盗賊がよく村を襲うことがあった。そのとき村人たちは梯子を掛けてあの崖の上へ逃げた。逃げたあとで梯子を取れば、盗賊たちは登ることができない。そうして難を逃れたので、そこに廟を建てて神を祭った。そんな謂われの廟がある。

2-4 2014.07.01 (火) 王家沟門の花児会

旧暦6月5日。蓮花山花儿会の5日目にあたるこの日は、景古鎮の王家沟門を会場にする慣例があるので、そこへ出かけた。蓮花山から20kmほど北である。会場は小さな川が流れている河原である。多くの露天が並び、大変な人出であったが、ここでも花儿を歌う人たちは、ほとんど汪蓮蓮の関係者だけだった。歌掛けは、それぞれ四～五人ずつからなるグループが二手に分かれ、各グループの人が順番に掛け合う。また串班長がいて次に歌う歌詞を教えてやる。ただし自分で歌詞を作って歌う人もいる。

3 調査結果

蓮花山の花児会は旧暦6月1日から6月6日の6日間にわたって行なわれる伝統行事であり、そこでは盛んに花儿が歌われたことが報告されているが、今ではこの期間に花儿を自発的に歌う人々はほとんどいなくなった。今回、蓮花山を訪れてみて、もはや以前のような花儿会は消えてしまったことを実感した。

現在、花儿の継承に取り組んでいる趙意立氏からの聞き取りで得られたことは次のとおりである。

(1) 蓮花山花儿会が衰退した原因

- ①まず一つは交通事情の変化によって蓮花山参詣行事の在り方が大きく変わったことにある。蓮花山の中腹まで道路が整備され、参詣者は自動車で行くことができるようになった。そのため登山に時間を要しなくなり、それによって当然、山での滞在時間も短くなって、花儿を歌う機会も減った。(蓮花山の中腹には海拔2,802mの標示がある。)
- ②次に出稼ぎ労働の増加である。これはどこでも民俗行事衰退の共通した原因になっている。
- ③さらに、行政の関与による花儿の演唱コンテストが始まったことで、花儿会が舞台上ののど自慢大会に変質したことである。

(2) 蓮花山花儿傳承の変化

1980年代に始まった花儿のコンテストが、民衆の自発的な花儿会衰退の要因となり、1990年代に入るとほとんど歌う人がいなくなった。その後、政府による非物質文化遺産の指定によって再び興味を持つ人が増えてはきたが、花儿の傳承はコンテストで入賞した指導者が教室を開いて教える時代になった。

(3) 南路の洮岷花儿との違い

二郎山を中心とする南路の洮岷花儿は男女が一对一で恋歌を交わす形態であるが、北路の蓮花山花儿は男女が数人ずつのグループを形成して歌い交わす形態である。下記の取材歌詞によれば、一聯をグループのメンバーが二句ずつ歌う。三人のグループならば一聯は六句になる。自分で即興的に作詞できる人も二句ずつ分担して歌う。また、串班長が対歌の進行に合わせて歌詞を作ってやることで、歌い手は歌唱に専念できる。

今回の取材では個人的な恋歌の対歌には出会わなかった。南路と共通する点は衬句の使用である。

ただし南路では歌い出しの初句に衬句がくるが、取材歌詞の例から見ると、北路では歌い出しの初句にまず「好不过的莲花山」などの蓮花山を称える句を詠み、次に「竹竹扎下马着呢」「杆一根两根杆」などの衬句がくる。今までの筆者の採集した南路の衬句と一致するものはなかった。字余りが結構多く見られるが、一句七音(字)を基本とする点も南路と共通する。ただし北路では一聯の終わりに「花儿呀，两连叶儿啊」という定型句をグループのみんなで斉唱する。

なお、両者の押韻については今後の検討課題としたい。

4 蓮花山花儿对歌取材歌詞

〈凡例〉

1. 取材日は2014年6月30日(旧暦6月4日)の午後、取材場所は甘肅省臨夏回族自治州康楽県の蓮花山である。ただし、自的に行なわれた歌掛けではなく、地元テレビ局が花儿会の番組を制作するために依頼して行なった歌掛けである。男性三人と女性四人、そして女性の側には串班長が一人付いている。男性側は自分で作詞していた。女性の一人は「汪蓮蓮」の芸名を持つ汪海娥。串班長は趙意立である。男女の一行は、蓮花山の中腹の駐車場に建つ蓮花山寺の裏の登山道をのぼりながら、ときどき立ち止まって歌掛けを行なった。
2. ここに文字化した部分は、筆者らが一行に同行して録音したときの、比較的録音状態の良かった部分三ヶ所である。便宜的に001、002、003と番号を付けた。録音時間は001が7分20秒、002が9分20秒、003が4分00秒である。また歌手を区別するために、男性グループの三人を男A、男B、男Cとし、女性グループの四人を女A、女B、女C、女Dとした。
3. 音源から歌詞を文字化する作業は戚曉萍が担当し、日本語訳は張蠡が担当した。歌詞の注は戚曉萍が行ない、張蠡が日本語訳したものを板垣俊一が多少調整した。

001

001-1

男A：好不过的莲花山， 竹竹扎下马着呢。	一番素敵な蓮花山、 竹で竹馬が作ってある。
男B：土牌里的 ⁴ 老唱家， 莲花山我问你着呢。	土牌村のベテラン花儿歌手よ、 蓮花山のことについて貴女に聞きたいな。
男C：娃娃的 ⁵ 阿姨土牌的， 你看二天门啥神把着呢， 手拿什么耍着呢。	土牌村から来たうちの子のおばさん、 二天門はなんとという神様が見張っているのか、 手にどんなものを弄んでいるのか。
合：花儿呀，两连叶儿啊 ⁶	花儿よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

001-2

女A：俊不过的莲花山， 竹竹扎下马着呢。	一番秀麗な蓮花山、 竹で竹馬が作ってある。
女B：好不过的莲花山， 二天门上马灵官 ⁷ 把着呢。	一番素敵な蓮花山、 二天門は馬靈官が見張っているのよ。
女C：二天门上马灵官把着呢， 手提金斗 ⁸ 耍着呢。	二天門は馬靈官が見張っているよ、 手に金の升を弄んでいるの。
女D：啦儿湾 ⁹ 的莲花山， 兀 ¹⁰ 在云头耍着呢。	啦兒灣の蓮花山歌手(ごらんなさい)、 彼(神様の馬靈官)は雲の上で弄んでいるよ。
女A：兀在云头耍着呢，	彼は雲の上で弄んでいるんだよ、

他把天门把着呢。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

天門をちゃんと見張っているんだよ。
花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

001-3

男A：原打原的原来来了，
杆一根两根杆。
男B：有名望的汪师傅，
今几个又把你碰见。
男C：娃的阿姨你听啊，
三天门把的什么官，
他手提什么耍得圆。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

話がもとに戻る、
竿一本と二本の竿。
声望の高い汪師匠、
今日はまた貴女に出会った。
うちの子のおばさん、答えなさいよ。
三天門を見張っているのはなんという神様か、
彼が手で上手に弄んでいるのはどんなものか。
花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

001-4

女B：好不过的莲花山，
竹竹扎下马着呢。
女A：好不过的莲花山，
三天门温灵官把着呢。
女C：好不过的莲花山，
天门把得真威严。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

一番素敵な蓮花山、
竹で竹馬が作ってある。
一番素敵な蓮花山、
三天門は温靈官が見張っているよ。
一番素敵な蓮花山、
厳めしく天門を見守っているんだ。
花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

001-5

男A：好不过的莲花山，
杆一根的两根杆。
男B：杆一根的两根杆，
我今几个把土牌就将迎见。
男C：四天门把的是岳灵官，
他手中是什么空中悬。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

一番素敵な蓮花山、
竿一本と二本の竿。
竿一本と二本の竿、
僕は今日土牌村の花兒歌手に出会ったばかりだ。
四天門を見張っているのは岳靈官だ、
空中に浮かんでいる彼が手に持っているものは何だ。
花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

001-6

女A：好不过的莲花山，
杆两根的一根杆。
女B：俊不过的莲花山，
四天上岳灵官。
女C：好不过的莲花山，
他就精忠报国心一片。
女D：大沟山¹¹啦儿湾你看啦，
他的形象真威严。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

一番素敵な蓮花山、
竿二本と一本の竿。
一番秀麗な蓮花山、
四天門の岳靈官。
一番素敵な蓮花山、
国のために忠誠と身を尽くす彼（岳靈官）の心、
大沟山啦儿湾の歌手の貴男ごらんなさいよ。
彼（岳靈官）の威厳のある格好を。
花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

001-7

男A：原打原的原来来了，
杆两根的一根杆。
男B：来了唱个莲花山。
男C：土牌里的汪师傅，
真的他到空中悬。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

話がもとに戻る、
竿二本と一本の竿。
蓮花山に来たら蓮花山を歌おう。
土牌村の汪師匠、
本当に彼（岳靈官）が空中に浮かんでいるの見える。
花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

001-8

女B：好不过的莲花山，
杆两根的一根杆。
女A：俊不过的啦儿湾莲花山，
四天门上岳灵官。
女C：好不过的莲花山，
五百灵官由他管。
女D：他给莲花山上催香烟，

就把莲花山的庙宇都修全。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

一番素敵な蓮花山、
竿二本と一本の竿。
一番秀麗な啦儿湾蓮花山、
四天門の岳靈官。
一番素敵な蓮花山、
彼は五百もの靈官を一手に司る。
彼のおかげで蓮花山はお参りが盛んで、供えてある線香の
煙も後を絶たない、
蓮花山のすべての廟が立派に整えられるに違いない。
花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

002

002-1

女B：好不过的莲花山，
钢二两的四两钢。
女A：俊不过的莲花山，
我连马莲绳堵一挂。
女C：好不过的莲花山，
你就不唱花儿上不上。
女D：我的姊妹咱们把花儿对上唱，
我问你对上么对不上。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

一番素敵な蓮花山、
油壺二両入りと四両入りの油壺。
一番秀麗な蓮花山、
私は馬蓮繩で山道を塞ぐ。
一番素敵な蓮花山、
貴男が花兒を歌ってくれないと通れないよ。
姉妹たちよ、花兒を掛け合おうか、
貴男がこの掛け合いに加わることができるだろうか。
花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

002-2

男A：好不过的莲花山，
钢二两的四两钢。
男B：土牌里的汪师傅，
你就把马莲绳堵一挡。
男C：我就跟上山着浪¹²一趟，
我把花儿还就唱上上。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

一番素敵な蓮花山、
油壺二両入りと四両入りの油壺。
土牌村の汪師匠、
貴女は馬蓮繩で登山道を遮る。
僕も後について山遊びに行こう、
もちろん花兒を歌いながら登るからさ。
花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

002-3

女B：好不过的莲花山，
杆一根两根杆。 一番素敵な蓮花山、
竿一本と二本の竿。
女A：好不过的莲花山，
马莲绳堵得宽。 一番素敵な蓮花山、
馬蓮繩で登り道いっぱいを塞ぐ。
女C：好不过的莲花山，
你把花儿对上我喜欢。 一番素敵な蓮花山、
私たちと花兒の掛け合いができたなら何より嬉しいけど。
女D：对上了我把马莲绳放开，
你对不上了底下钻。 ちゃんと掛け合いができたなら、馬連繩を放して（通させる）、
できなかつたら、馬連繩の下を潜るしかない。
合： 花儿呀，两连叶儿啊。 花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

002-4

男A：好不过的莲花山，
从上往下堵着呢。 一番素敵な蓮花山、
登山道は上から塞がれている。
男B：俊不过的莲花山，
你连马莲绳堵着呢。 一番秀麗な蓮花山、
貴女は馬連繩を引いて立ちほだかっている。
男C：俊不过的莲花山，
你连马莲绳堵啥呢，
给我还当拦路虎着呢。 一番秀麗な蓮花山、
馬連繩で何を阻もうとしているのか、
僕の行く手の邪魔物になっているではないか。
合： 花儿呀，两连叶儿啊。 花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

002-5

女B：好不过的莲花山，
萋¹³两条的一条萋。 一番素敵な蓮花山、
萋二本と一本の萋。
女A：俊不过的莲花山，
我连马莲绳拦一遭。 一番秀麗な蓮花山、
私はとりあえず馬連繩を引いて道を塞ごう。
女C：好不过的莲花山，
不是我把这唱花儿的不知道。 一番素敵な蓮花山、
貴男が歌いかけてくれたおかげで、花兒を歌うことができた。
女D：(我的娃娃的阿爸)，这就才把唱花儿的寻¹⁴着了。
(子供のお父さんよ) やっと(気持ち良く) 掛け合いので
きる相手が見つかったんだ。
合： 花儿呀，两连叶儿啊。 花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

002-6

男A：好不过的莲花山，
萋两条的一条萋。 一番素敵な蓮花山、
萋二本と一本の萋。
男B：土牌的你把马莲绳拉好，
我唱花兒的名声或¹⁵不小。 土牌村の貴女よ、馬連繩をちゃんと引け、
花兒にかけては、ほくの名声がたぶん高いといえるだろう。
男C：沟门上堵你头一道，
人人把我都知道。 山の入り口で一回目の通せんぼに遇った、
僕はみんなによく知られている。
合： 花儿呀，两连叶儿啊。 花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

002-7

女B：好不过的莲花山，
杆两根的一根杆。 一番素敵な蓮花山、
竿二本と一本の竿。
女A：俊不过的莲花山，
杆两根的一根杆， 一番秀麗な蓮花山、
竿二本と一本の竿。
我连马莲绳堵一半。 私は馬連繩で登山道の半分を塞ごう。
女C：俊不过的莲花山，
咱们把这花儿分成两摊摊， 一番秀麗な蓮花山、
二グループに分けて花兒を歌おうか、
就像新式钢磨两盘转。 新式のステンレス製の白の、二つの白台が同時に回るように。
女D：高速公路两条线，
我的姊妹你喜欢的我喜欢。 高速道路は二本の車線が走っている、
姉妹の貴女がそうすれば嬉しいなら、私も嬉しいよ。
合：花儿呀，两连叶儿啊。 花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

002-8

男A：好不过的莲花山，
镰刀要割沙柳呢。 一番素敵な蓮花山、
鎌で沙柳を切る。
男B：土牌的你堵我的心有呢，
你把马莲绳放脱我走呢。 土牌村の貴女、僕をわざと通させてくれない気が、
馬連繩を放して通させてちょうだい。
男C：土牌里的详细听，
你把马莲绳放脱我走呢， 土牌村の貴女、よく聞いてくれよ、
馬連繩を放して通させてちょうだい、
我的后头还有呢。 僕の後ろには人がいるよ。
男B：我的后头还有呢，
还有三朋四友呢。 僕の後ろには人がいるよ、
友達がたくさんいるよ。
合：花儿呀，两连叶儿啊。 花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

002-9

女B：好不过的莲花山，
蔓两条的四条蔓。 一番素敵な蓮花山、
蔓二本と四本の蔓。
女A：好不过的莲花山，
唱花儿迎上背帮¹⁶了。 一番素敵な蓮花山、
思う存分花兒の掛け合いを満喫できるような相手に出会えて本当に助かるわ。
女C：好不过的莲花山，
我把马莲绳放脱了。 一番素敵な蓮花山、
私は馬連繩を放そう。
女D：花儿有人对上了，
唱花儿才有劲涨了。 花兒の掛け合いがうまくできたら、
花兒を歌う気持ちが高ぶってくる。
合：花儿呀，两连叶儿啊。 花兒よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

002-10

男A：好不过的莲花山，
锅两口一口锅。 一番素敵な蓮花山、
鍋二口と一口の鍋。
男B：俊不过的莲花山，
你把马莲绳放脱。 一番秀麗な蓮花山、
貴女は馬連繩を放せ。
男C：三朋四友都过过，
友達のみんなを通させてくれ、

不是一个把一个寻不着。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

はぐれてお互いに探さなきゃ、なんてことのないように。
花児よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

003

003-1

女B：好不过的莲花山，
红心柳¹⁷杈套杈。
女A：好不过的莲花山，
把你好比荷包花¹⁸。
女C：把你好比荷包花，
荷包花开一点点。
女D：好不过的莲花山，
荷包花我爱它，
扳着卧室我放下。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

一番素敵な蓮花山、
ギョリュウの枝が交差して絡み合っている。
一番素敵な蓮花山、
貴男を荷包花に喩える。
貴男を荷包花に喩える、
荷包花は小さい花を咲かせる。
一番素敵な蓮花山、
私は荷包花が大好きだ、
花を折って寢室に飾ってある。
花児よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

003-2

男A：好不过的莲花山，
鸡一窝的两窝鸡。
男B：土牌的你好像园子里的九月菊。
男C：我想把你折着去，
到底把你舍不得。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

一番素敵な蓮花山、
鶏一小屋と二小屋の鶏。
土牌村の貴女は花園に咲いている9月の菊の花のようだ。
貴女を折って持って帰りたいが、
(貴女のためにならないので) やっぱり折るに忍びない。
花児よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

003-3

女B：好不过的莲花山，
鸡一窝的窝九鸡。
女A：好不过的莲花山，
阳世上活人有男的有女的。
女C：我的姊妹你听啦，
牡丹开花时有红的有绿的。
女D：我的姊妹听下啦，
牡丹开花香气还传千里呢。
女D：啦儿湾的大沟山
牡丹再好是前头的名声也有呢。
女C：好不过的大沟山，
端端蜜蜂采你呢。
合：花儿呀，两连叶儿啊。

一番素敵な蓮花山、
鶏一小屋と九小屋の鶏。
一番素敵な蓮花山、
この世を渡るのは男もいるし、女もいる。
私の姊妹たちよ、聞いてくれよ
満開の牡丹は赤もあるし、みどりのもある。
私の姊妹たちよ、聞いておけよ、
満開の牡丹の香りは千里を走る。
啦儿湾大沟山 (の歌手よ)、
牡丹は確かに素晴らしいけど、今までやけに褒め称えられたのではないか。
一番素敵な大沟山 (の歌手よ)、
蜜蜂が (貴女を花と勘違いして) 採蜜しようとしているではないか。
花児よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。

003-4

<p>男A：俊不过的莲花山， 杆两根的一根杆。</p> <p>男B：土牌的我今几个把你将迎见， 我像菊花儿颜色浅。</p> <p>男C：嫌浅呢么不嫌浅， 不嫌浅了缠二年。</p> <p>合：花儿呀，两连叶儿啊。</p>	<p>一番秀麗な蓮花山、 竿二本と一本の竿。</p> <p>土牌村からの歌手よ、僕は今日貴女に会ったばかりだ、 僕は菊の花のようで、ただしまだ色が浅い。 (ここでの「浅い」は自分の花児の腕はまだ浅いという意味もある)</p> <p>色の浅い僕が嫌か嫌でないか、 嫌でないなら二年間付き合ってくれよ。</p> <p>花児よ、繋がっている二枚の葉っぱよ。</p>
---	---

注

- 1 元新潟県立大学
- 2 甘肅省社会科学院文化研究所
- 3 西安外国語大学日本文化経済学院
- 4 土牌：地名，在这里是指男歌手B所询问的女歌手的住所所在地。(地名。男歌手Bが歌いかけた女歌手の住んでいる場所。)
- 5 娃娃的：相手を自分の家族の一員として、自分の子の目線から親しみを込めて呼びかけたもの。
- 6 花儿呀，两连叶儿啊：“莲花山花儿”每个段落结尾处歌手们合唱的程式句，结尾处的这一程式句也是莲花山花儿的标志。(蓮花山花児の段落ごとの終わりに来る歌手たちがみんな合唱する決まり文句で、蓮花山花儿の特徴ともいえる。蓮花山は蓮花の形をしているが、石山で葉っぱがないことを惜しむ感情から、何とか葉っぱをつけよう、山の植物が生い茂るように、など地元の人々の願いを込めた歌詞だということである。また、蓮花山にある道教、仏教、儒教も繋がっている葉っぱのようにむつまじく付き合っていくようにという深い裏の意味もあるとのこと。)
- 7 灵官：是道教的护法天神。莲花山自观音殿向上，曾经依山而立四座建筑，分别是头天门、二天门、三天门、四天门。这四座建筑内分别塑有道教的四位灵官，别是赵灵官、马灵官、温灵官、岳灵官，这四位灵官的原型人物分别是赵公明、马灵耀、温琼、岳飞。(道教の護法天神である。蓮花山では昔観音殿から上に四つの建築が続いていた。それぞれ「頭天門」「二天門」「三天門」「四天門」と呼ばれる。四つの建築内に道教の靈官四人の像が供えてある。それぞれ趙靈官、馬靈官、溫靈官、岳靈官で、そのモデル人物は歴史上の張公明、馬靈耀、溫琼、岳飛である。)
- 8 金斗：斗，盛粮食的器具，金斗即金子做的斗，在本句歌词中是指马灵官的法宝。道教中马灵官的形像是左手持长枪，右手托金砖。金砖和金斗视觉差别细微，也许给歌者造成了误解。(斗とは穀物の分量を量る容器で、金斗とは金で作られた斗である。この歌詞では馬靈官の手に持つ神通力の宝物を指す。道教の馬靈官のイメージ像としては左手に長槍で、右手に金レンガである。金レンガと金斗は見た目ですべて似ているので、歌手の勘違いを招いたようである。)
- 9 啦儿湾：地名，在这里是指与女歌手D对歌的男歌手的住所所在地。(地名。女歌手Dが歌いかけた男歌手の住んでいる場所。)
- 10 兀：方言，意即第三人称“他”。(方言。第三人称の「彼」という意味である。)
- 11 大沟山：地名，在这里是女歌手D用与其对歌的男歌手的住所来指称该男歌手。(地名。女歌手Dが歌いかけた男歌手の住所で男歌手自身を指す。)
- 12 浪：方言，意即游玩。(方言。遊ぶという意味。)
- 13 蔓：方音读作y á o，即用树皮、树的枝条搓成的绳。方言の発音では「yáo」で、樹皮や枝で縋う繩のことを指す。)
- 14 寻：方音读作x í ng，意即找。(方言の発音では「xíng」で、探すという意味である。)
- 15 或：方音读作hu í，表示推测，意即或许、应该，在这里是歌手的自谦说法。整句歌词的意思是(我想)我唱花儿的名声应该不小吧。(方言の発音では「huí」で、推測を表すたぶんという意味である。歌手の遜っ

た言い方である。歌詞の意味は花儿にかけては、ほくの名声がたぶん高いといえるでしょう)

- 16 背帮：方言，意即有力的帮助。(方言。力強い助けという意味である。)
- 17 红心柳：方言，又称红细柳，即红柳。(方言。また「紅細柳」ともいう。ギョリュウのことである。)
- 18 荷包花：是当地人对荷包牡丹的俗称。(地元での巾着牡丹(華鬢草)の俗称である。)